

浜野与志男

CD発売記念ピアノコンサート

これぞロシアン・ピアノニズムの
境地——漂流する国の
孤高なる音楽が、今ここに。

<当日プログラム>

ショスタコーヴィチ：ピアノ・ソナタ 第2番 ロ短調 Op.61
ラフマニノフ：幻想的小品集 Op.3 前奏曲 嬰ハ短調
ラフマニノフ：10の前奏曲 Op.23-2 変ロ長調
ラフマニノフ：10の前奏曲 Op.23-6 変ホ長調
ラフマニノフ：10の前奏曲 Op.23-7 ハ短調
ラフマニノフ：絵画的練習曲集 Op.39-1 ハ短調
ラフマニノフ：絵画的練習曲集 Op.39-3 嬰ヘ短調
ラフマニノフ：絵画的練習曲集 Op.39-5 変ホ短調
ラフマニノフ：絵画的練習曲集 Op.39-9 ニ長調
タネーエフ：前奏曲とフーガ 嬰ト短調 Op.29
ショスタコーヴィチ：ノクターン(ハエ音楽「明るい小川」より)
他

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2019年
9月14日(土)

開場13:30/開演14:00
入場料：会員3,500円/
一般4,000円/学生2,000円
(全席自由席)



浜野与志男 CD発売 記念 ピアノコンサート

2019年9月14日(土) 開場13:30/開演14:00 入場料: 会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円 (全席自由席)



浜野与志男 (Hamano Yoshio)

2011年日本音楽コンクール第1位、マルメ北欧ピアノコンクール第1位、アルマトイ国際ピアノコンクール第2位、野島稔・よこすかピアノコンクール最高位など多くの賞歴をもつ。日本フィル・サンデーホール定期やロイヤル・フェスティバル・ホール、パーセル・ルーム(ロンドン)、モスクワ音楽院ラフマニノフホール、浜離宮朝日ホールでのリサイタルをはじめ国内外にてソリストとして積極的に演奏活動を展開し、自主企画にも注力している。

東京藝術大学音楽学部を経て英国王立音楽大学大学院にて修士号ならびにアーティストディプロマを取得、モスクワ音楽院およびドイツ・ライプツィヒにて研鑽を積む。これまで岡田敦子、エリソ ヴィルサラゼ、故・エレナ アシュケナージ、御木本澄子、ヴァディム サハロフ、ニキータ フィテンコ、ドミトリー アレクセーエフ、ゲラルド ファウトの各氏に師事。本年4月より東京音楽大学および東京藝術大学音楽学部にて後進の指導にあたる。



《ステート オヴ マインド 漂流する国の孤高なる音楽》

レーベル: オクタヴィア・レコード
JAN/ISBN: 4526977931582 ¥3,000+税

【商品説明】

ロシア音楽の新たな地平を拓く大器、待望のデビュー。浜野与志男は東京生まれ。2011年日本音楽コンクール第1位をはじめ、マルメ北欧ピアノコンクール、アルマトイ国際ピアノコンクールなど多くのコンクールに入賞。オーケストラとの共演をはじめ、海外の名ホールでもリサイタルを開催。東京藝術大学を経て、英国王立音楽院やモスクワ音楽院、ライプツィヒなどでも研鑽を積み、ヴィルサラゼやエレナ・アシュケナージについて学んだ浜野の真骨頂は、何といたってもロシア音楽。難曲に耳を奪われがちなこれらのレパートリーを、「心のうちのすべてを伝える語り口」(浜野与志男)を軸に、その内奥に潜む光と影を克明なピアノリズムで表出している。

【演奏】
浜野与志男(ピアノ)

【曲目】
ラフマニノフ:
幻想的小品集 作品3より 前奏曲 嬰ハ短調
10の前奏曲 作品23より 第2番、第6番、第7番
絵画的練習曲集 作品39より 第1番、第3番、第5番、第9番
タネーエフ:
前奏曲とフーガ 嬰ト短調 作品29
ショスタコーヴィチ:
ノクターン(バレエ音楽「明るい小川」より)
ピアノ・ソナタ 第2番 ロ短調 作品61
【録音】
2018年8月21-23日
神奈川県立相模湖交流センターにて収録

「文は人なり」という面白いもので「演奏も人なり」だ。
「演奏」にも「文」同様、その人のさまざまなパーソナリティが表れる。

浜野与志男は日本人とロシア人のハーフであり、日本語とロシア語のバイリンガルだそう。

日本人と欧米人のパーソナリティは異なっているが、それはピアノの演奏面にも表れている。

きわめて包括的な言い方だが、日本人の演奏は細やかで個々の音を大切に。また、どちらかといえば無個性、没個性的な演奏が多いといえる。

それに対して欧米人の演奏は、個々の音や響きよりも曲全体の構成や流れを重視し、その中に自分の個性や芸術性も表現しようとする演奏が多いように感じられる。

もちろん、大雑把なこうした言い方は、個々のケースに当てはめた場合には、必ずしも当たっていないことも多い。しかし、日本では個性よりも画一的な教育の重視、社会全体が異質さを好まない横並び主義の尊重という教育や文化の相違からもそういえる面があることは否めない。

浜野与志男の演奏を聴くと、日本人の長所と欧米人の長所がうまく融和しているような特長を感じる。

そしてそれは、浜野のパーソナリティにも関係していることに気づかされる。

浜野は日本とロシアでピアノを学んでいる。留学先もロシアである。

浜野のロシアものの演奏では、「日本人が弾くロシアもの」ではなく、「日本人にわかりやすい、共感できるロシア人が弾くロシアもの」を聴くことができる。

この演奏会では、「ラフマニノフ、タネーエフ、ショスタコーヴィチの作品の一つひとつは自叙伝の一節のようだ」と語る浜野による日本人に共感できる本物のロシアの心を聴くことができるだろう。(美竹清花さん)



大ホールのプラチナ席をしのご
“美竹清花さんという楽器”の中で
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
美竹清花さんが追求する“本物の音楽”は、
演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 I L A (美竹清花さん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 9:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

